タリンクシリアラインのシュルッツCEO(右)

UNWTOのグレッサー持続可能な観光プログラム部長

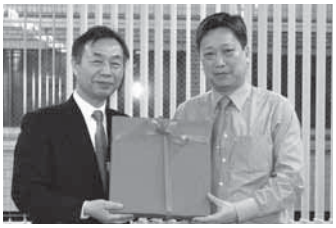
要人往来

円安の逆風が続く中で、旅行者にとって心理的なマイナス要因となるテロ事件も相次ぐなど、市場環境は厳しさを増していますが、JATA本部を訪れる各国の関係者が日本マーケットに寄せる期待は依然として大きいようです。

ANTORジャパンの片山会長(中央左)と田川会長(中央右)

シンガポール政府観光局のユウキョン副長官(左から2人目)と中村理事長(中央)

ラグジュアリー・パックス社のドブラスGM(左)


ベトナムのツアン文化・スポーツ観光副大臣(右)と中村理事長

高額ツアーで日本市場へ参入

バルセロナ 2月23日(月)

イルデフォンソ・ドブラス　ラグジュアリー・パックス旅行社ジェネラルマネージャー

バルセロナ市観光局の代表としてJATA本部を訪問し、「中国人やロシア人向けの高額ツアーを提供しているが、今後、日本市場に参入したい」と意向を表明。越智事務局長は、「サッカー・トレーニング・プログラムをはじめ、SITツアー商品を開発して日本の旅行会社にアピールすれば、SIT需要を掘り起こせると思います」と応じました。

"Let's go海外!"などイベント開催

ANTORジャパン 3月2日(月)

エドワード・トゥリプコヴィッチ・片山　ANTORジャパン会長

田川会長を訪れ、「第2次世界大戦終結から70周年に当たる今年、国連が定めた国際平和デーの9月21日に合わせて、"Let's go海外!"など様々なイベントを開催したいと考えている」と説明。田川会長は、「ANTORジャパンはJATAの重要なパートナーであり、"Let's go海外!"の効果を高めるため、ツーリズムEXPOジャパンのプレイベントとしていただくなど、旅行会社にもアピールできればと思います」と応じました。

観光フェアに日本からの参加を期待

ベトナム 3月9日(月)

ホ・アン・ツアン　ベトナム文化・スポーツ観光副大臣

中村理事長を訪問し、「2014年に開設したベトナム旅行業協会の東京事務所を窓口に、ファムツアーやメディアトリップをはじめ、さまざまな事業やイベントを実施していきたい。ハノイやホーチミンで開催される観光フェアへの日本からの参加も期待している」と表明。中村理事長は、「ベトナム政府やベトナム航空の尽力などでベトナムの日本での人気は高まっており、今後もJATAとして積極的に協力していきたい」と応えました。

世代ごとの嗜好に対応

バルト海クルーズ 2月25日(水)

マルグス・シュルッツ　タリンクシリアラインCEO

パシ・ナッキ副社長とともに中村理事長と懇談し、「バルト海の都市をつなぐフェリーラインとして、クルーズツアー商品を提供しており、現在の日本人観光客は4万人前後だが、世代ごとの嗜好に対応していきたい」と説明。中村理事長らは、「今後のシニア世代では体験ツアーへの関心が高まりますから、バルト3国での体験プログラムを含めた商品を提供していけば、日本人旅行者が増えるでしょう」と応えました。

独立50周年で様々なイベント

シンガポール 3月11日(水)

リヨン・ユウキョン　シンガポール政府観光局副長官

中村理事長を訪問し、「2010年以降、マリーナ・ベイ・サンズやリバー・サファリなど新しいアトラクションの提供と積極的なプロモーションにより日本人旅行者が増加した。今年は独立50周年で様々なイベントを展開している」と説明。中村理事長は、「ツーリズムEXPOジャパンへの出展も含め、JATAとして協力していきたい」と応じました。

観光地の負荷軽減を目指す

UNWTO 3月17日(火)

ダーク・グレッサー　国連世界観光機関(UNWTO)持続可能な観光プログラム部長

中村理事長を訪問し、「世界中で旅行者数が急激に増加して、観光地への負荷が懸念される状況であり、UNWTOとしては、その負荷を測定する手法を開発し、負荷を減らす目標を設定できればと考えています」と説明しました。